

# 新型コロナウイルス感染症の発生に伴う 経済社会情勢の変化

令和2年(2020年)11月  
北 海 道

# 目次

## 1 新型コロナウイルス感染症への対応状況

(1) 概要	1
(2) 感染状況（世界、国内、道内）	2
(3) 対応	
・医療提供体制（PCR検査体制）	5
・感染症病床・宿泊施設の確保数	6
・「北海道スタイル」	7

## 2 新型コロナウイルス感染症による各分野への影響

(1) 生活・安心	
・健康意識	9
・妊娠届出数	10
・オンライン診療	11
・自殺者数	15
(2) 経済・産業	
・実質経済成長率	16
・景気ウォッチャー調査	17
・企業倒産	18
・新型コロナウイルス関連倒産	19
・失業者・就業者等の推移（道内）	20
・就業者の推移内訳（道内）	21
・有効求人倍率	22
・完全失業者数・完全失業率	23
・テレワークの普及状況（道内）	24
・意識の変化	26
・ネットショッピングの増加	28
・決済手段の変化	29
・世界的な物流の状況	30
・輸出額	31
・道産食品の輸出の状況	32
・道産牛肉・水産物価格の推移	33
・航空路線の運航状況	35

・人の活動量の変化（国内・道内）	36
・来道外国人数	37
・来道者数	38
・宿泊者数	40
・北海道旅行に期待すること	41
・サプライチェーンの見直し	42

(3) 人・地域	
・大学の海外留学の現状・見通し	43
・高速道路の交通量	44
・鉄道、バス、ハイヤー・タクシーの輸送量	45
・三大都市圏の人口集中とそれ以外の地域との比較	48
・東京都へ転入超過数の推移	49
・移住に係る意識の変化	51
・Smart道庁の取組	53

## 3 ウィズコロナ・ポストコロナを見据えた政策検討の基本データ

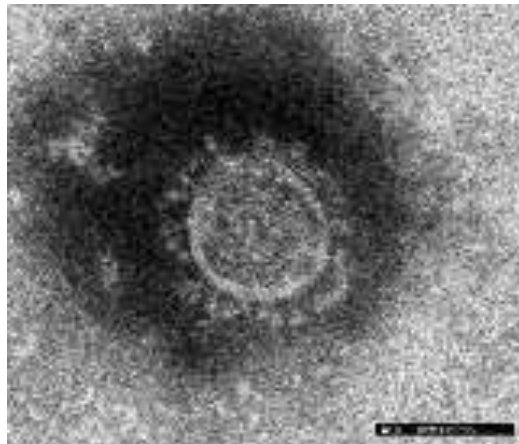
(1) 生活・安心	
・医療人材の偏在	55
(2) 経済・産業	
・企業誘致	56
・本社機能移転の事例	57
・サプライチェーンの中国依存度	58
(3) 人・地域	
・公立学校における主なICT環境の整備状況	59
・公立学校の教員のICT活用指導力	61
・日本人の海外留学者数・外国人留学生数	62
・外国人の雇用状況（道内）	63
・移住定住（サテライトオフィス・ワーケーション）	65
・高速情報通信ネットワークの普及状況	67
・手続きをオンライン化するためのシステム導入市町村	68

# 1 新型コロナウイルス感染症への対応状況

## 1 どんな感染症？

新型コロナウイルス(SARS-CoV2)による感染症を  
**新型コロナウイルス感染症**(COVID-19)と呼ぶ

### 【新型コロナウイルス(SARS-CoV2)とは】



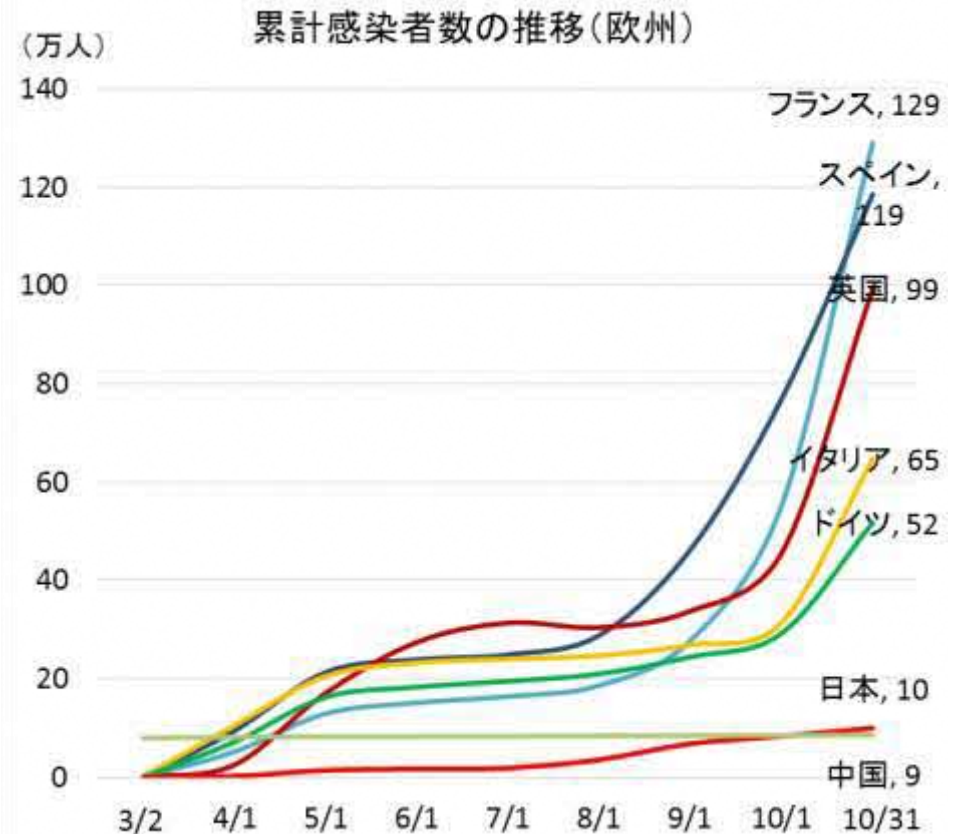
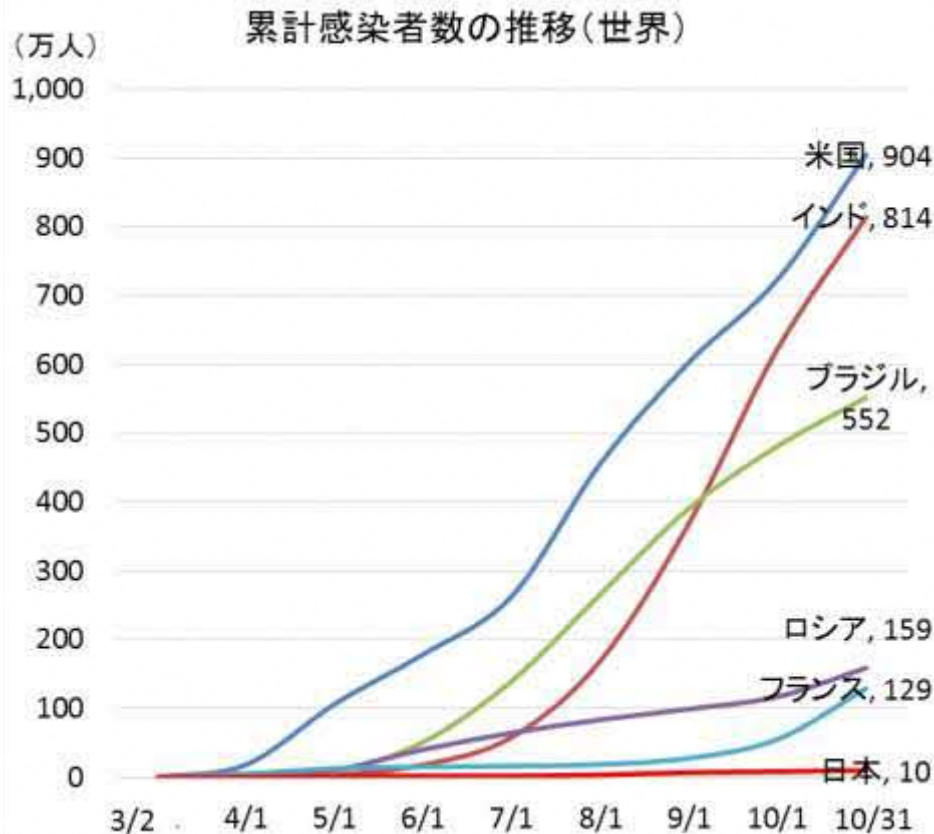
(提供: 国立感染症研究所)

- ・コロナウイルス※の1つ
- ・動物由来コロナウイルスと判明しているが、感染源である動物はまだ分かっていない
- ・自分自身で増えることはできず、粘膜などの細胞に付着して入り込んで増える
- ・現在はヒト-ヒト感染によって流行が世界的に広がっている状況

※コロナウイルスには、一般の風邪の原因となるウイルスや、「重症急性呼吸症候群(SARS)」「中東呼吸器症候(MERS)」ウイルスが含まれる。

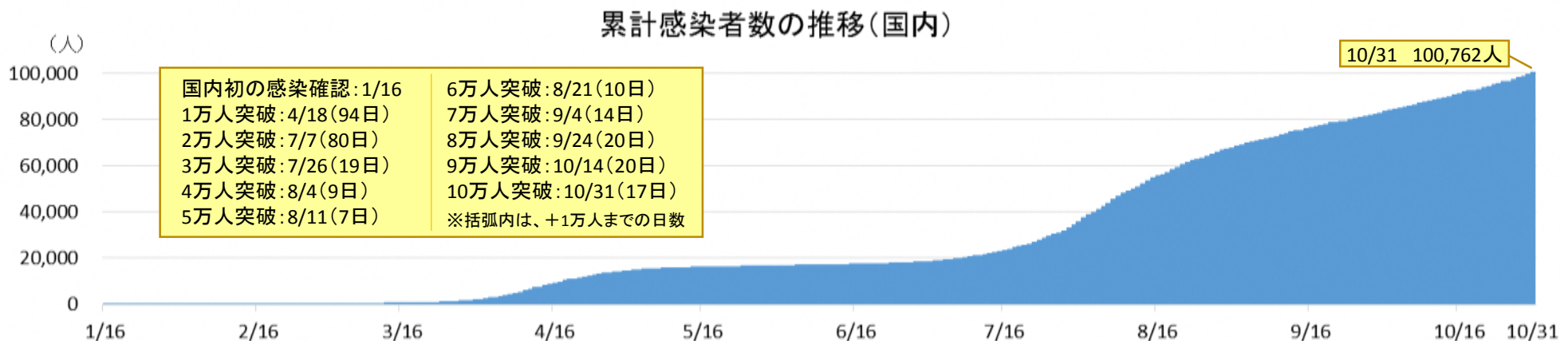
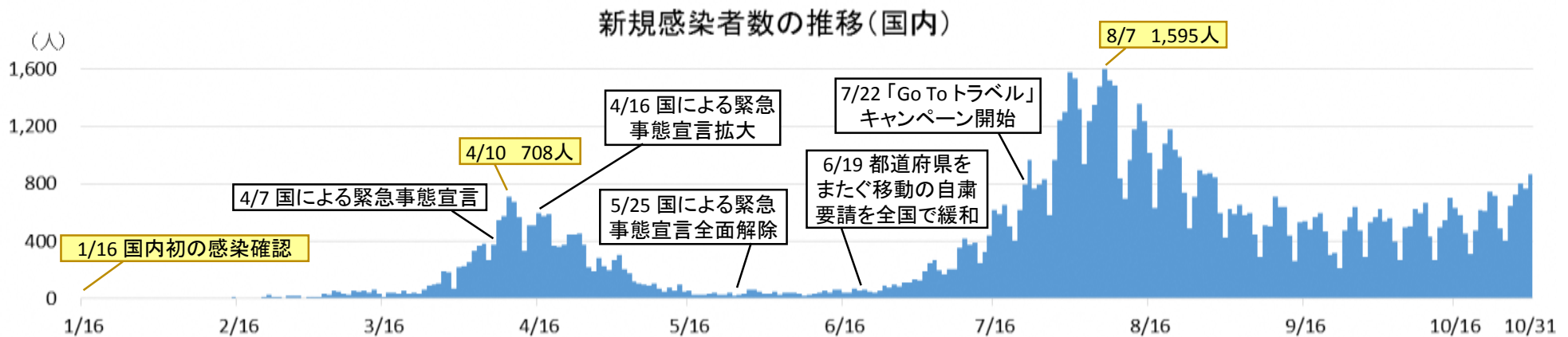
# 新型コロナウイルスの感染状況(世界)

- 2020年10月31日15時現在、世界全体の新型コロナウイルスの累計感染者数は4,549万人となっている。
- 最も多い国は米国(904万人)で、次いでインド(814万人)、ブラジル(552万人)、ロシア(159万人)、フランス(129万人)と続いている。
- 特に、インドでは、8月以降に感染拡大のペースが上がり、また、9月以降、フランスなど欧州各国で感染が拡大している。



# 新型コロナウイルスの感染状況(国内)

- 2020年1月16日に、日本国内で初めて新型コロナウイルスの感染が確認された。
- 3月下旬以降、増加傾向となり、4月7日、国による緊急事態宣言が行われた。
- 6月19日に都道府県をまたぐ移動の自粛要請が全国で緩和された後、再び増加傾向となり、8月7日(1,595人)にピークを迎えた。
- 9月以降は、概ね横ばいで推移していたが、10月下旬から再び増加しつつある。
- 累計の感染者数は、10月31日に10万人を突破している。

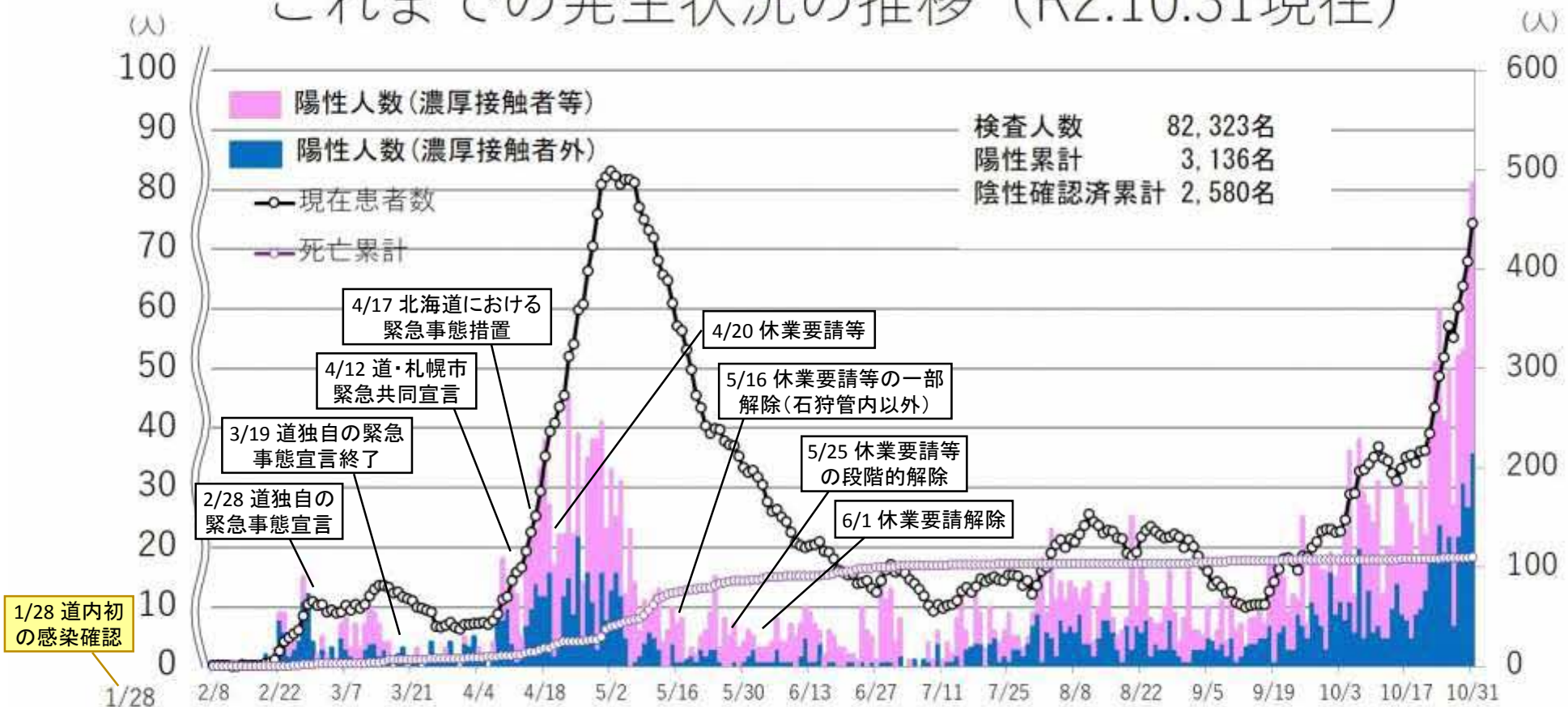


出典: 厚生労働省のオープンデータを基に道が作成

# 新型コロナウイルスの感染状況(道内)

- 2020年10月31日現在、道内で累計3,136の感染者が確認されている。

## これまでの発生状況の推移 (R2.10.31現在)



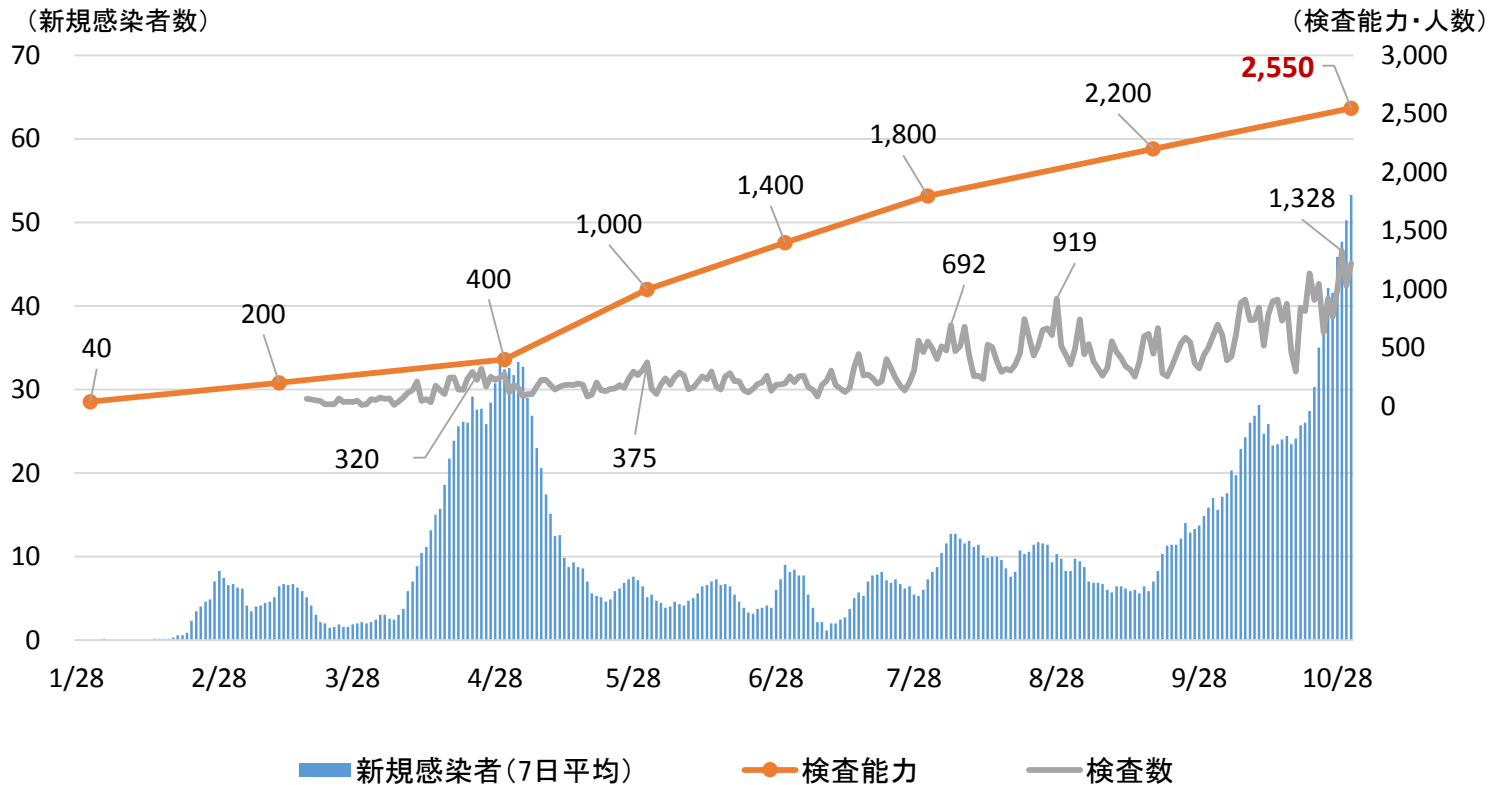
※「陽性人数」における濃厚接触者等の有無は、報道提供日における判明数での集計となります。

出典: 北海道「新型コロナウイルス感染症に関する情報」を加工して作成

# 医療提供体制(PCR検査体制)

- 2020年10月31日現在、PCR検査能力は2,550件/日(10月平均793人/日平均)。

検査数及びPCR検査能力の推移



月平均検査件数

4月	149人/日
5月	185人/日
6月	195人/日
7月	258人/日
8月	484人/日
9月	438人/日
10月	793人/日

PCR検査センターの開設

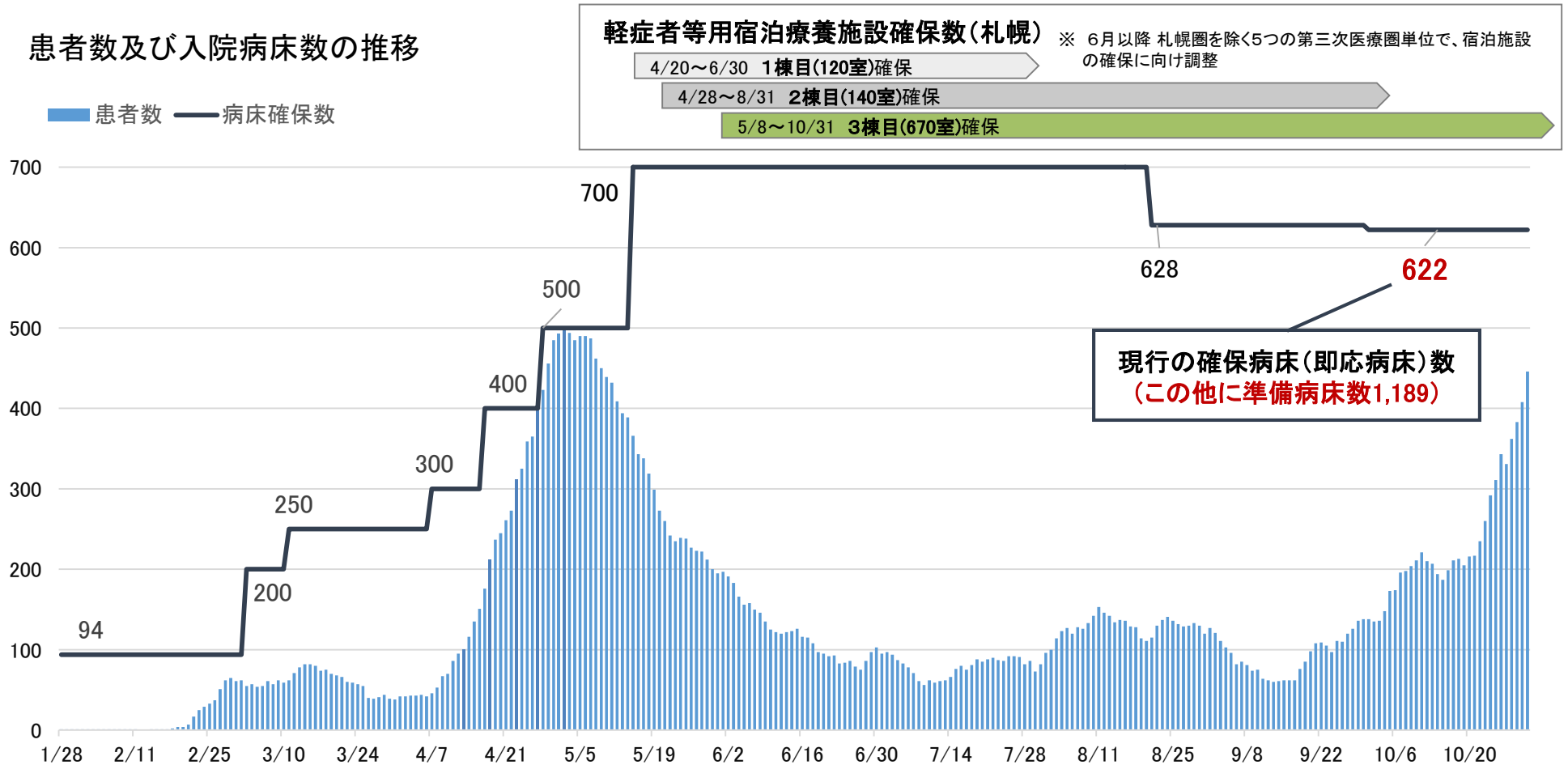
5月	札幌市、函館市、苫小牧市
6月	江別市
7月	札幌市(すすきの臨時)、千歳市
8月	北見市
9月	北広島市、室蘭市
10月	帯広市、石狩市



# 感染症病床・宿泊施設の確保数

- 今後の感染拡大に備え、2020年10月31日現在、即応病床622床、宿泊療養670室を確保。

## 患者数及び入院病床数の推移



# 「北海道スタイル」の概要

- ・感染リスク低減に必要な新しい生活様式を実践していくため、道民のライフスタイルと、事業者の皆様のビジネススタイルの変容を促進し、事業者の感染拡大防止の取組を可視化することで、道民・事業者が連携して進める「北海道スタイル」の定着を推進



## 道民の皆さまへ

いまは、きよりとって

手を洗おう

咳エチケット

換気をしよう

北海道コロナ通知システムと接触確認アプリ(COCCOA)を活用しよう

3つの「密」をさげよう

テイクアウトやデリバリーも

オンラインを上手に使おう

いまは、小声で

正しく理解し、思いやりある行動をはじめよう、つづけよう。「北海道スタイル」

## 事業者の皆さまへ

マスク着用・手洗いを徹底します

健康管理を徹底します

こまめに換気します

消毒・洗浄します

一定の距離をとっています

お客さまへ咳エチケット・手洗いを促します

取組をお知らせします

北海道コロナ通知システムと接触確認アプリ(COCCOA)をお客様にお知らせします

はじめよう、続けよう。「北海道スタイル」

## ○「北海道コロナ通知システム」を活用しましょう

- ・QRコードを取得し、会場入口等に掲示しましょう
- ・お客様に、QRコードの読み込みをご案内しましょう

### 【北海道コロナ通知システム】

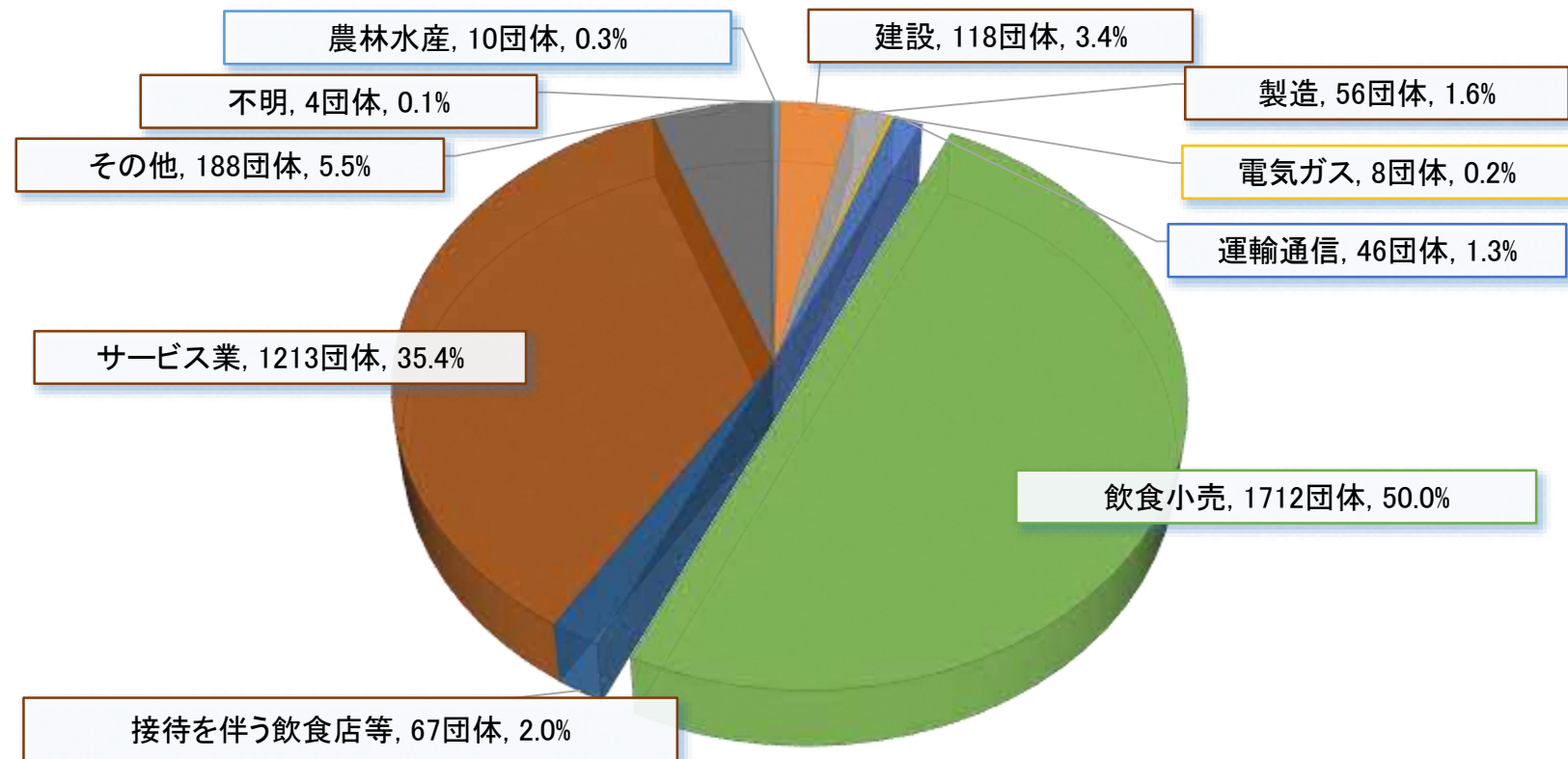
施設利用者がQRコードからメールアドレスを登録すると、同じ日、同じ施設を利用した方の中から新型コロナウイルスの感染者が確認された場合、北海道からのメールでお知らせするシステム。（※濃厚接触者の方が特定できる場合などでは、通知しない場合があります。）



# 「北海道スタイル」取組宣言の店舗数

- 感染拡大防止の取組状況を、利用者の新しいお店選びの基準にさせていただくことを目的として、「北海道スタイル」に取り組んでいるお店を道のホームページで公表。
- 2020年11月4日現在、3,422団体が取組を宣言。「飲食小売」の業種が1,712団体(50.0%)と全体の半分以上を占めている。

## 「北海道スタイル」取組宣言の店舗数





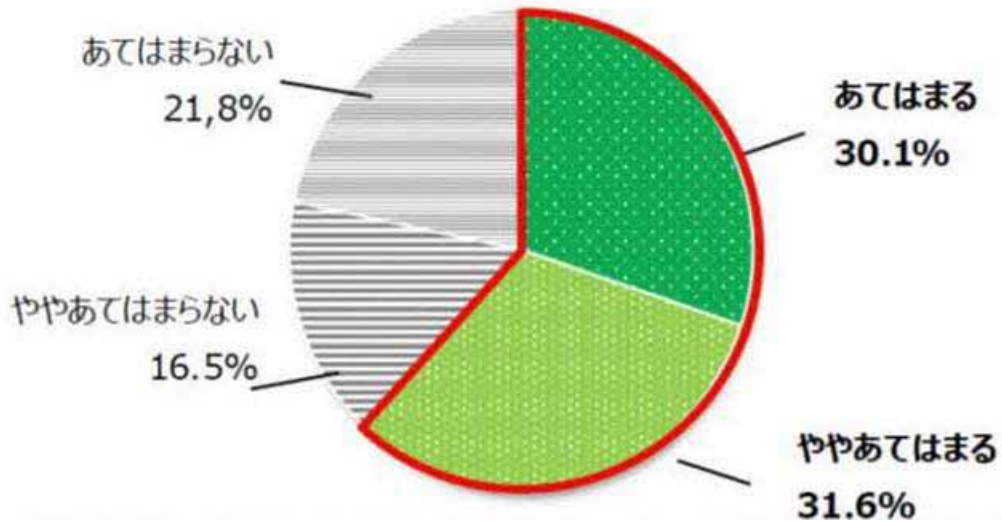
## 2 新型コロナウイルス感染症による各分野への影響

生活·安心

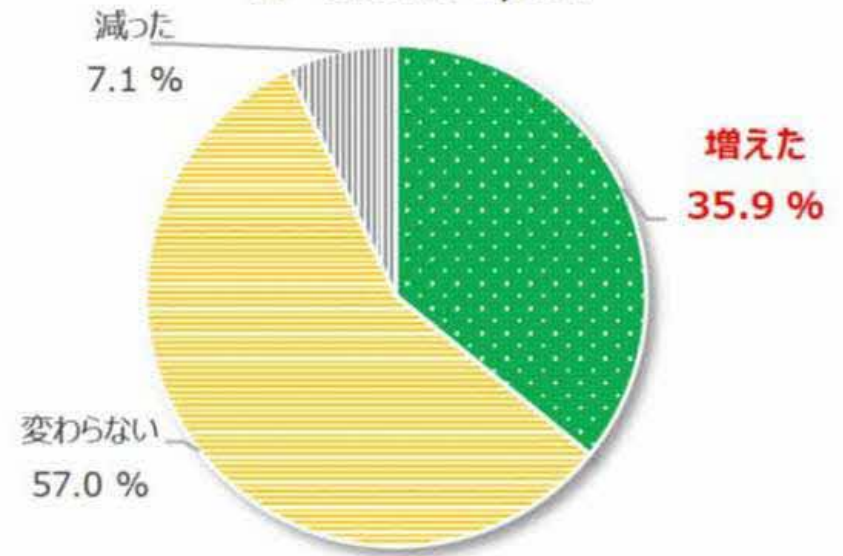
# 健康意識

- 新型コロナウイルス感染症流行前と比較し、約6割が運動不足と回答。
- 35.9%が体重が増えたと回答。

新型コロナウイルス感染症流行以前と比較して運動不足になったか  
(単一回答：N=5,262)

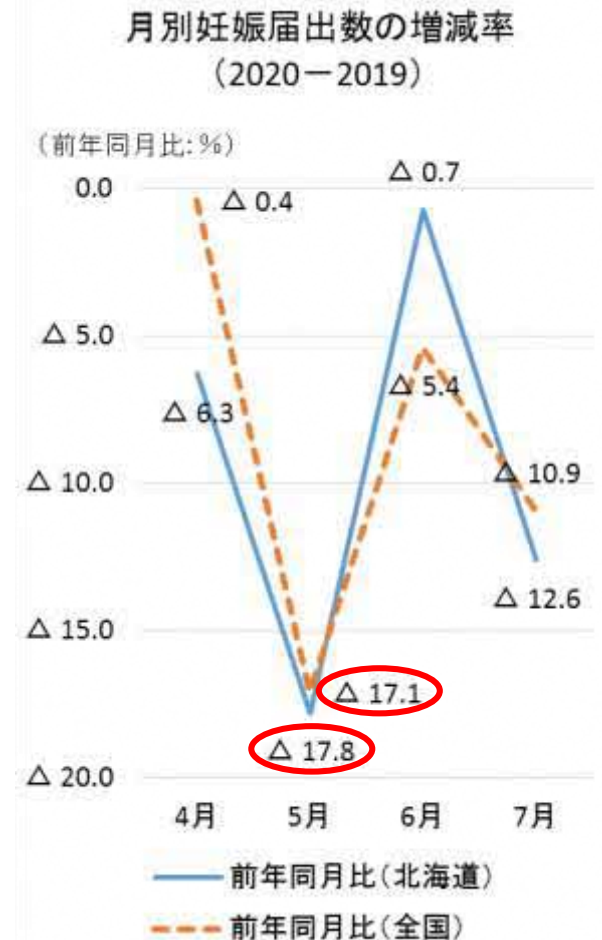
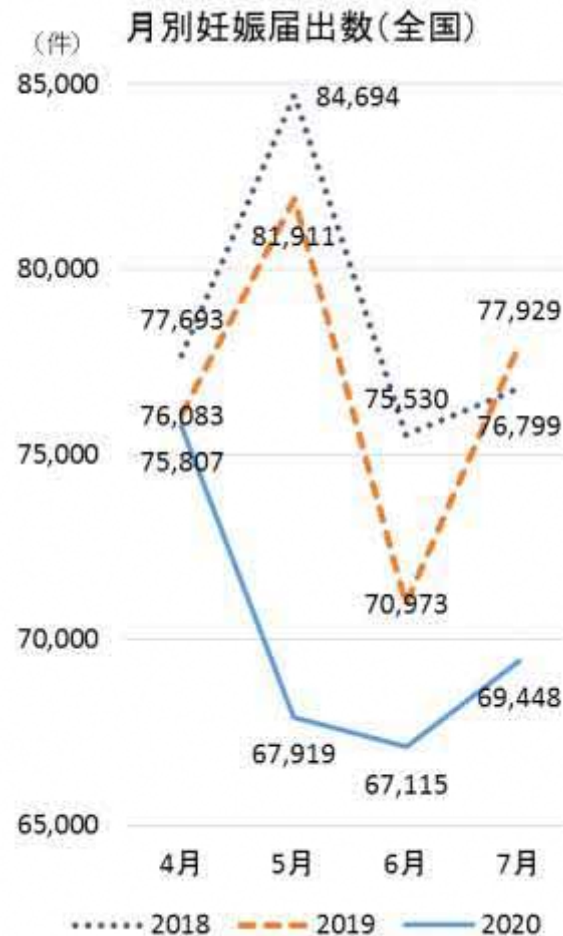
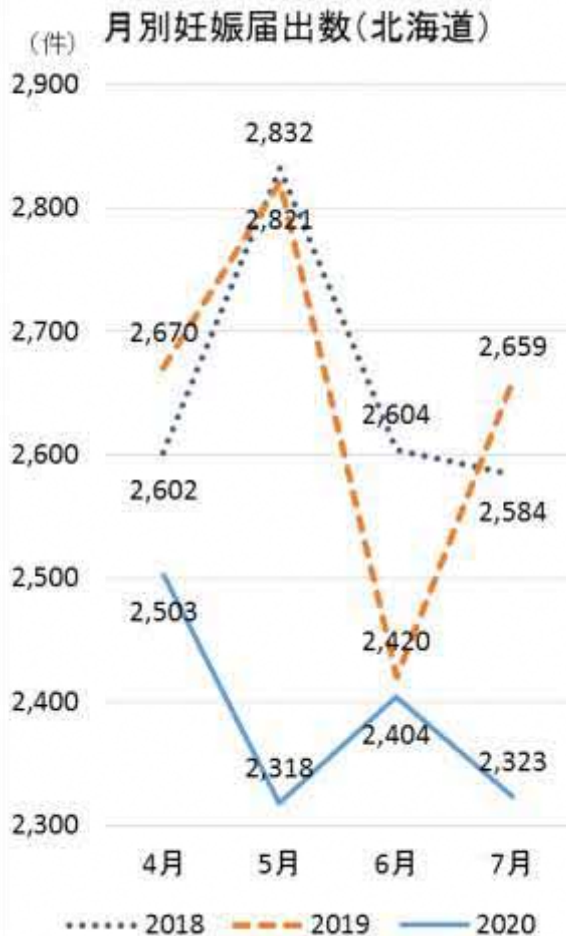


新型コロナウイルス感染症流行以前と現在を比較して  
体重の変化はあったか  
(単一回答：N=5,262)



# 妊娠届出数

- 厚生労働省が、新型コロナウイルス感染症の流行が妊娠活動等に及ぼす影響を把握することを目的として、妊娠届出数の状況について調査(2020年10月21日公表)。
- 2020年4月～7月の月別妊娠届出数は、北海道、全国ともに、いずれも前年同月比を下回っており、5月の減少率が最も大きい(北海道:17.8%減、全国:17.1%減)。



出典:厚生労働省「令和2年度の妊娠届出数の状況について」を基に道が作成

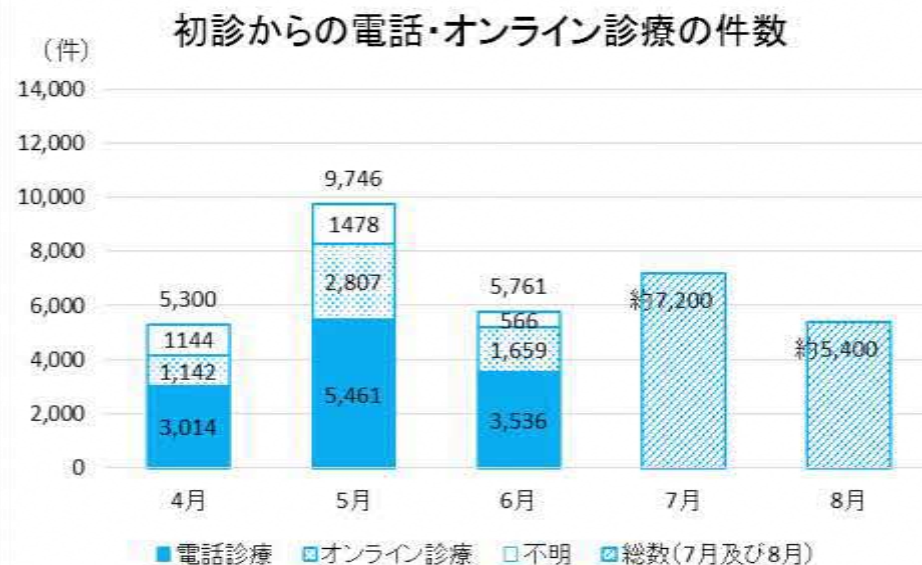
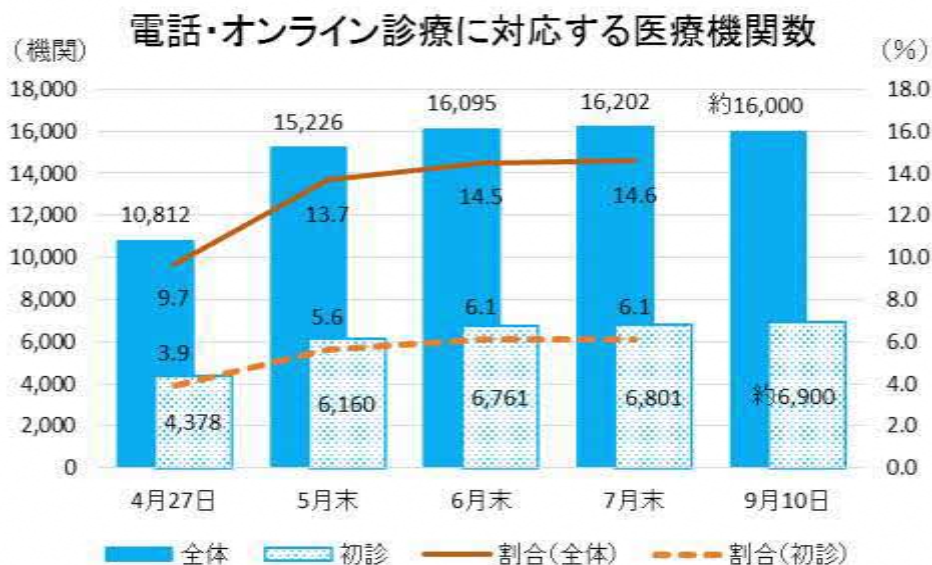


# オンライン診療①

- 新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえた時限的・特例的な取扱いとして、2020年4月10日以降、初診からの電話・オンラインによる診療が可能となっている。
- 9月10日時点で、電話・オンライン診療を実施できる医療機関は約16,000機関で、このうち、初診から実施できるとする医療機関は約6,900機関となっている。
- 初診から電話・オンラインによる診療を実施した件数を月別にみると、5月の9,746件が最も多く、8月は約5,400件となっている。

## 時限的措置の考え方

○ 新型コロナウイルス感染症が拡大し、医療機関の受診が困難になりつつあることに鑑みた時限的・特例的な対応として、初診も含め、医師の責任の下で医学的に可能と判断した範囲において、希望する患者が電話や情報通信機器を用いて診断・処方を受けられることとした。



## オンライン診療②

### 令和2年10月9日閣議後会見での田村厚生労働大臣の発言(抜粋)

平井IT担当大臣、河野行革担当大臣といろいろと打合せ、申し合わせをさせていただきました。確認した点は、1つはオンライン診療についてであります。安全性と信頼性をベースに、初診も含めオンライン診療は原則解禁することでそれぞれが合意と言いますか、意識合わせをしたということです。安全性と信頼性をベースに、ということです。そして、オンライン診療は、電話ではなく映像があることを原則とするということ。電話だとなかなか症状が分からないということもありますので、そういう意味でこのようなことを改めて確認いたしました。

### 今後のオンライン診療の検討にあたっての考え方

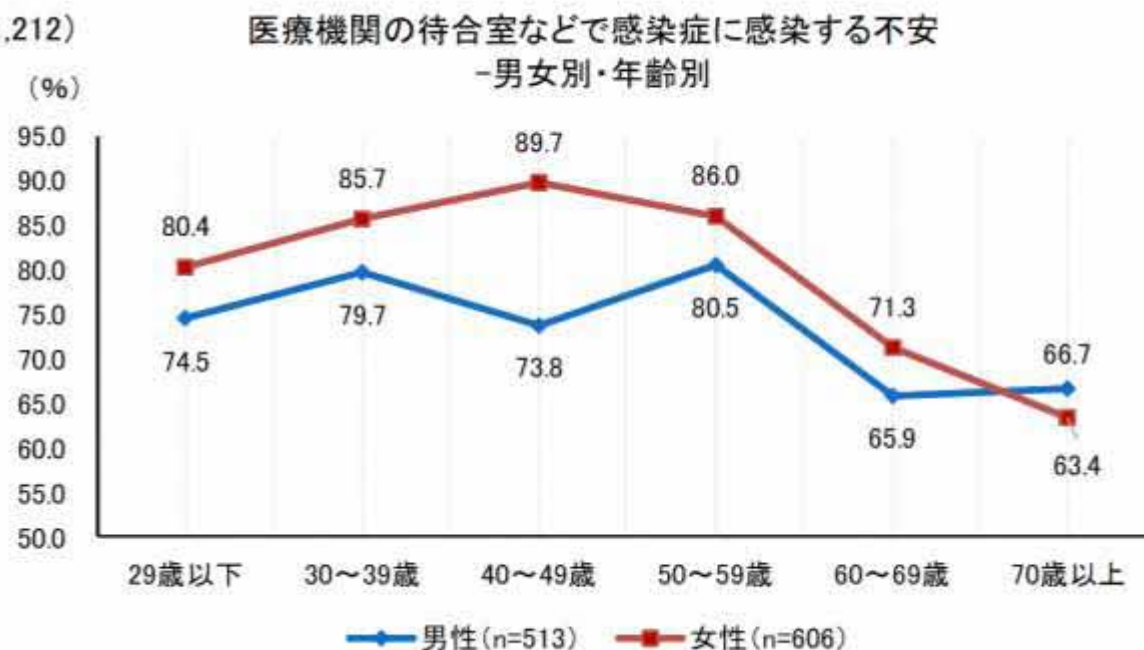
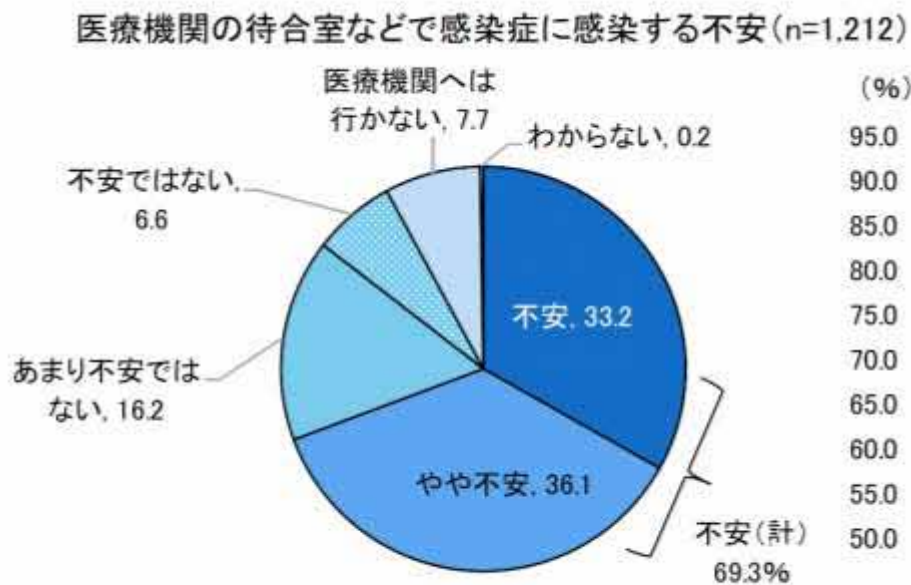
- ◆ 安全性と信頼性をベースに、初診も含めオンライン診療は原則解禁する
- ◆ オンライン診療は、電話ではなく映像があることを原則とする
- ◆ 安全性と信頼性については、オンライン診療を行うことによる患者の利便性等のメリットと、対面診療を行わないことによる疾患の見逃し・重症化のリスクや、患者と医療機関のトラブルのリスク等を総合的に考慮する

### 今後の対応方針

- オンライン診療について、時限的・特例的な取扱いに関する効果や課題等の検証に当たり、受診者を含めた関係者の意見を聴取するため、10月から追加的な実態調査を実施予定。
- 患者が安心してオンライン診療を受けられるよう、安全性や信頼性を担保するための恒久的ルールの中核の検討を「オンライン診療の適切な実施の見直しに関する検討会」において進めていく。

# オンライン診療への関心の高まり①

- 医療機関での感染に不安を感じている人が約7割にのぼり、70歳未満の世代で女性のほうが男性より不安が高い傾向。



# オンライン診療への関心の高まり②

- 「状況(緊急事態宣言下の外出自粛等)によって対面診療もしくはオンライン診療を選択したい」「状況に関わらず、軽い症状であればオンライン診療を選択したい」と回答した人を合わせて約6割はオンライン診療の選択を希望。



- 状況(緊急事態宣言下の外出自粛等)によって対面診療もしくはオンライン診療を選択したい
- 状況に関わらず、軽い症状であればオンライン診療を選択したい
- どのような状況であっても、軽い症状であっても、対面での診療を希望する
- オンライン診療を受けたいが、オンライン診療を受ける環境(スマートフォンやタブレットの設定が苦手)がないので、対面での診療を選択する
- オンライン診療は、情報漏洩や盗み見など、セキュリティ面での不安があるので、対面診療を希望する
- 上記に該当なし

出典:株式会社三菱総合研究所・一般財団法人医療情報システム開発センター 共同調査  
「個人の健康管理や医療機関の受診に関する意識調査」(2020年6月)